

次世代クレー舗装 ヘルシークレー工法®

ヘルシークレー工法は、現場の土を利用することもでき、発生土の処分・購入土の運搬に伴う大型ダンプの往来が減り、工事でのCO₂削減効果が得られます。改良された土は、1㎡当たり30ℓ程度保水するため、雨水の流出抑制効果があり、透水性も良いため、広域避難場所等に指定されている学校や公園のグラウンドに最適です。衝撃緩和機能があるヘルシークレーを人工芝の下地とすることにより、人体に与える負担も減り、スポーツ技術の向上に役立ちます。また、気化熱による冷却効果で、熱中症予防やヒートアイランド対策にも有効です。(利用できる土は、事前に調査が必要です。全ての土が使える訳ではありません。)

学会発表:人工芝グラウンドの下地に用いる透水性保水型舗装の衝撃緩衝機能について
http://www.cies.co.jp/tsk/tsk_ronbun.pdf

メカニズム

特殊技術で開発した安全無害の液体(ヘルシークレー)を希釈し、現況土と混合することで、土の粒子を団粒化させ雨水の保水性と透水性を高めます。団粒化した土は微粒子が結合し塊を作る為、水の通りが良くなりしかも微粒子が流れ出ることなく水が澄んでいます。硬度の調整ができますので、軟らかいグラウンドから固めの園路まで、さらにはゴムチップ舗装や人工芝の下地にまで応用できます。

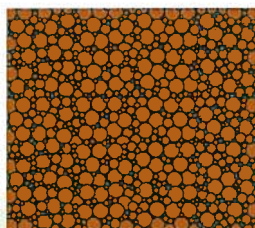
特徴

透水性が向上するので、降雨時でも水溜まりができてなくなっています。

現地発生土の利用が可能で、購入土、残土処理費等にかかるコストを低減できます。(現地発生土が使用できる量は、土質により異なります。)

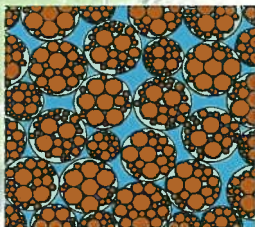
現場内での施工が可能です。また、プラントを使った施工も可能です。

【未処理】単粒構造の状態。水を入るとぬかるみます。



水をかけると、土の粒子が水と一緒に流れ落ちます。

【透水性保水型改良】団粒構造の状態。連続した大小の空隙ができます。



水をかけても、土の粒子と粒子が結びついているので、流れ落ちる水は澄んでいます。